

7. 各大学提供科目

・ 対面授業科目

対面授業(教養教育科目)				02001
食と健康			岸本 妙子	
Food and Health				
1~4年次	1単位	第3Q	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 日本人の食生活の現状、食生活指針、これまでの食生活の歴史、食習慣とその背景、食文化等、食と健康に影響を与える要因について学ぶ。海外から評価された日本型食生活、現在のファストフードや日本食ブームの意味するものを考える。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 1. 序論——わが国の食生活の特徴—— 2. わが国の主要死因別死亡率と食生活に関連する危険因子 3. 食文化と食文明 4. 日本型食生活について——健康志向と平均寿命との関わり—— 5. 食生活史(1)——わが国のタンパク質源—— 6. 食生活史(2)——日本食(和食)の成立—— 7. 食習慣とその背景——簡便食とファストフード—— 8. 食文化の継承と異文化理解</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。授業中にレジュメ・資料等を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 『新版 食品学』(辻英明・五十嵐脩編著)建帛社、他は授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 学習態度、提出された課題、期末試験により総合的に評価する。評点の配分は概ね学習態度 20%、課題 20%、期末試験 60%である。なお、出席率が 2/3 以上を、期末試験の受験資格とする。</p>				

## 7. 各大学提供科目

対面授業(専門教育科目)				02002																
国際家族政策論			近藤 理恵																	
International Family Policy																				
3~4 年次	2 単位	第 1Q	1 コマ																	
<b>【授業の目的】</b>																				
本講義では、各国の福祉レジームと家族政策の類型について示した後、日本を含めた各国の家族政策の全体像について講義する。その上で、①ワークライフバランス、②ひとり親家族、③子ども虐待、④フォスター・ケア、⑤パートナー間のドメスティック・バイオレンス、⑥国際結婚家族に関する政策とファミリー・ソーシャルワークについて講義し、最終的には今後の日本の家族政策のあり方について検討する。																				
<b>【授業内容】</b>																				
<table border="0"> <tr> <td>1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型</td> <td>9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)</td> <td>14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク</td> </tr> <tr> <td>8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク	8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	
1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク																			
8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
<b>【テキスト】</b>																				
プリントを使用																				
<b>【参考図書】</b>																				
「日本、韓国、フランスにおけるひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ」近藤理恵著、学文社、2013年																				
「多様な家族時代における新しい福祉モデルの国際比較研究」中嶋和夫監修、ユン・ジョンス、近藤理恵編、学文社、2010年																				
「グローバル時代における結婚移住女性とその家族の国際比較研究」中嶋和夫監修、ユン・ジョンス、近藤理恵編、学術出版会、2013年																				
『多文化家族における家庭内暴力と福祉的介入の国際比較研究』中嶋和夫監修、尹靖水、岡田節子、近藤理恵編、Bookway、2016年																				
<b>【成績評価の方法】</b>																				
レポート(50%)と授業への参加度(50%)によって評価する。授業への参加度とは、授業中のディスカッションへの参加度を意味する。																				

## 7. 各大学提供科目

対面授業(教養教育科目)				02003
情報技術の進展			但馬 康宏	
Progress of Information Technology				
1～4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 現代は情報化社会と呼ばれて久しいが、計算機やそれを利用した情報技術の仕組みの多くは一般に理解されていない。本授業では、計算機の生い立ちや仕組みを通してその意義、情報技術の目的について考える。あわせて、最新の研究動向の解説などを行う。				
【授業内容】				
1. 計算機と情報技術		9. チューリングマシン(1)		
2. 社会における計算機の活用例		10. チューリングマシン(2)		
3. 公共機関における計算機の活用例		11. 計算可能性と決定問題(1)		
4. 商業活動における計算機の活用例(1)		12. 計算可能性と決定問題(2)		
5. 商業活動における計算機の活用例(2)		13. 計算機における情報量と確率(1)		
6. メディアとデータの扱い		14. 計算機における情報量と確率(2)		
7. 計算機の生い立ち(1)		15. まとめ		
8. 計算機の生い立ち(2)				
【テキスト】 必要に応じ配布する				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 出席状況、レポート(中間、期末)により評価する				

7. 各大学提供科目

対面授業(教養教育科目)				02004																
健康と心理			迫 明仁, 谷口 敏代																	
Health and Mind																				
1~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  健康には「身体, 精神, 社会(生活)」の3つの側面がある(WHO)。本授業では, 健康生活に関わる心理(主に精神的・社会的側面)の基本的な仕組みを理解するとともに, 健康生活(健康維持行動)を構築・評価・支援するための心理学的理論を学習する。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 健康と心理の共有域</td> <td>9. ソーシャルサポート</td> </tr> <tr> <td>2. 関連する行動科学の世界</td> <td>10. ヘルスケアシステム</td> </tr> <tr> <td>3. 健康心理学の基礎理論</td> <td>11. 健康心理学的アセスメント</td> </tr> <tr> <td>4. 健康維持行動の理解</td> <td>12. 健康と教育</td> </tr> <tr> <td>5. ストレスと健康</td> <td>13. 健康心理カウンセリングの基本</td> </tr> <tr> <td>6. 健康とパーソナリティ</td> <td>14. 健康心理学と生活習慣</td> </tr> <tr> <td>7. 生活習慣と健康</td> <td>15. 期末まとめと課題</td> </tr> <tr> <td>8. 中間まとめと課題</td> <td>16. 定期試験</td> </tr> </table>					1. 健康と心理の共有域	9. ソーシャルサポート	2. 関連する行動科学の世界	10. ヘルスケアシステム	3. 健康心理学の基礎理論	11. 健康心理学的アセスメント	4. 健康維持行動の理解	12. 健康と教育	5. ストレスと健康	13. 健康心理カウンセリングの基本	6. 健康とパーソナリティ	14. 健康心理学と生活習慣	7. 生活習慣と健康	15. 期末まとめと課題	8. 中間まとめと課題	16. 定期試験
1. 健康と心理の共有域	9. ソーシャルサポート																			
2. 関連する行動科学の世界	10. ヘルスケアシステム																			
3. 健康心理学の基礎理論	11. 健康心理学的アセスメント																			
4. 健康維持行動の理解	12. 健康と教育																			
5. ストレスと健康	13. 健康心理カウンセリングの基本																			
6. 健康とパーソナリティ	14. 健康心理学と生活習慣																			
7. 生活習慣と健康	15. 期末まとめと課題																			
8. 中間まとめと課題	16. 定期試験																			
<p><b>【テキスト】</b>「健康心理学」, 野口京子(著), 金子書房</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>適宜紹介する</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業科目の目標についての達成度を測るため, 学習態度, 中間課題, 期末課題, 定期試験により, 総合的に評価する。評点の配分は, 学習態度20%, 中間課題20%, 期末課題20%, 定期試験40%とする。</p>																				